平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） １５ ※記入不要	提案機関名	農業振興課

要望問題　だいこんの生育診断ほ場の設置と生育情報の提供

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

近年、品種の更新が進みつつあるだいこんについて、標準的ないくつかの作期及び品種で栽培を実施し生育調査データを必要な関係機関に公表する。
この結果、リアルタイムな生育情報をつかむことで適正な生産出荷計画の実施と異常気象及び気象災害の把握と迅速な対策を可能とすることが出来る。
また、あくまでも出荷団体等の関係機関との調整の上であるが、調査結果については、速報値として一般に公開する（インターネットを通じて農総研ホームページから誰でも閲覧可能な情報として提供する）。

調査（公表）する情報は、生育調査結果(葉長、根長、根径、根重、その他)
現在の姿（デジカメ映像）
収穫適期までおよそ○○日（データを集積し平年生育曲線を作成）など

データ集積上、毎年実施することが望ましい。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	三浦試験場
部　　署：	三浦試験場
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可
試験研究課題名	（①、②、④の場合） 特産野菜の生育診断及び生育制御技術の確立

対応の内容等

「適正な生産出荷計画の実施」に活用できるようなダイコンの生産予測技術を確立するため、現在データを集積しています。また調査圃場は試験場内の人目につきやすい場所に設置し、地域の生産者、関係機関に比較圃場として利用していただいています。なお、生育データは随時必要に応じ地域の関係機関には情報提要しますが、一般公開については、データの蓄積・分析による精度の向上、関係出荷団体との調整等を行った上で実施する必要があります。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	